

<研究名称>

希少疾患に対する遠隔診療相談プロジェクト(北海道大学病院神経内分泌腫瘍センター)

<実施責任者及び実施担当者>

旭川赤十字病院 外科部長 医師 市村 龍之助

<研究期間>

当院倫理委員会の承認が得られ次第、運用を開始する。

<診療・研究の目的>

神経内分泌腫瘍は発症頻度が少ない希少疾患の一つだが、若年から高齢者までの幅広い年齢層において、広範な臓器から発生することが特徴である。その診断・治療・病状経過観察などについては、専門科への相談、担当医と専門科医師との情報共有、診療部門横断的なチーム医療が極めて有用と考えられる。上記を目的に、北海道大学病院 神経内分泌腫瘍センター(土川貴裕センター長 北海道大学病院消化器外科 II 診療准教授)は、北海道庁のサポートも得て「希少疾患に対する遠隔診療相談プロジェクト」の運用を開始しており、すでに道内の他の主要医療機関がこれに参加している。

<実施内容(方法)>

当院の神経内分泌腫瘍、またその類似疾患(希少上皮性/非上皮性腫瘍)患者の担当医が、必要に応じ当システムを利用する。対象患者担当医の要請を受け、当プロジェクトの当院窓口となる 外科部長 市村龍之助が、北海道大学病院 神経内分泌腫瘍センターに患者情報 CDR などを送付する(現在は、患者データ CDR を北海道大学病院 神経内分泌腫瘍センターに送付し、センターでバイタルリンク™にデータをアップする形をとっている。将来的には当院で患者データをバイタルリンク™にアップする方法についても検討中である。

<危険性(副作用)等>

特になし。

<倫理上問題になると考えられる事項>

特になし。

<問い合わせ先>

当研究に自分の試料・情報利用を停止する場合等のお問い合わせ
〒070-8530

旭川市曙1条1丁目1番1号

旭川赤十字病院 TEL: 0166-22-8111、FAX: 0166-24-4648